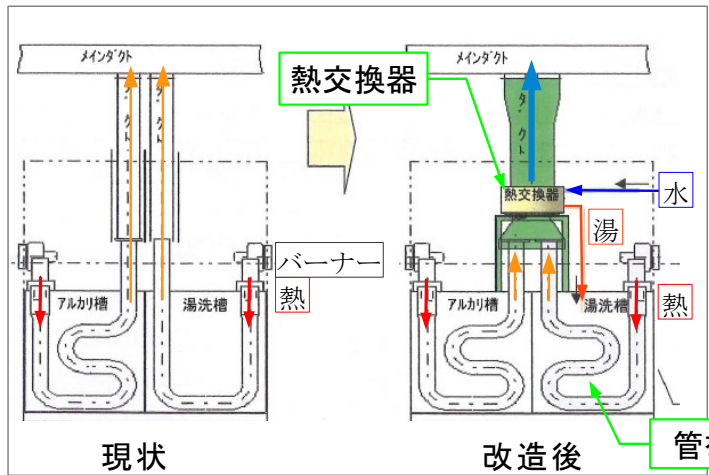


*** 第4Sの環境改善活動 ***

12月に行われた“環境改善推進会議”で、各チームの第4Sの活動状況・結果等を発表して頂きました。その中から改善事例を紹介します。

◆ A4洗浄機 排熱利用とバーナーチューブ改造の構想 FSPT



- ・排熱利用
アルカリ洗浄・湯洗加熱の排気熱を回収し、補給水の加熱に利用
都市ガス費：79万点/年 削減
- ・バーナーチューブ改造
チューブの形状改造と径をφ100から125に変更し伝熱面積が1.5倍
都市ガス費：99万点/年 削減

管を太く、蛇行

A4洗浄機の年間都市ガス費：390万点
排熱利用・改造での削減：178万点/年（年間都市ガス費の45%削減）

◀排熱利用 取組経過と予定▶

- 2012年7月 電気加熱炉からガス加熱炉（A8炉）へ更新し、排熱をA7炉洗浄機の補給水の加熱に利用
- 2013年5月 A6・A7炉の排熱をB7ボンデの補給水の加熱に利用
- 2013年5月 A4洗浄機排熱利用とバーナーチューブ改造（上記の記事）

◆ 第1工場（内給）コンパクトコンプレッサー配置完了 FJPT

2009年より、工場配管のエアガンからコンパクトコンプレッサーへ段階的に交換していき、105台の設置が完了しました。

工場配管のエアガンを廃止することで、エア配管を撤去し、エアロスを軽減するとともに、低圧なため切り粉が目目に飛んでくるなどの労災対策にもつながりました。



電力使用量

469万点/年が0.6万点/年となり、468万点/年（99%）削減となります。

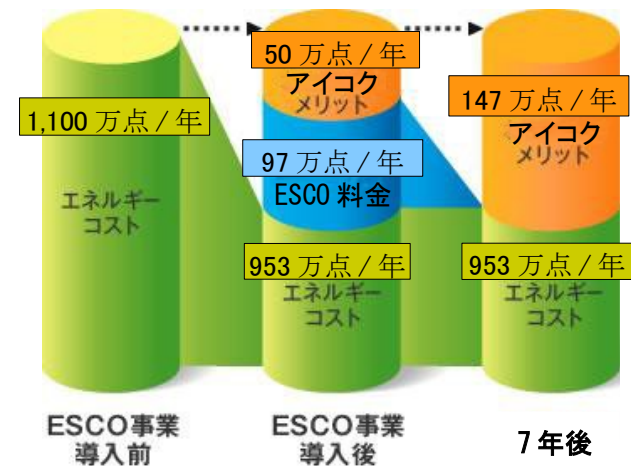
回覧確認欄

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

◆ 本社ビルをESCO(エスコ)事業で節電と費用削減 ECST

ESCO(Energy Service Company)事業とは建物の電気設備等の省エネ化をESCO事業者が行い、経費節減分を発注者（アイコク）とESCO事業者が分配する仕組みです。7年後は、全額メリットになります【本社ビルでは】

エアコンの台数制御をして節電を行います。そして、節電することで契約電力料金も下げられます。254kWから187kWに契約容量を引き下げ、基本料金だけでも126万点/年 削減となりました。



【全社課題ラリー発表会 環境特別賞】

テーマ 『切削水の廃水処理』

本社 ESSG 石田さん(右) 野田さん(左)

APでは、火災防止や環境問題により、切削油から切削水に切替えが進みました。

その廃水処理は、ボンデ廃液に混ぜて行っており、年々増加傾向です。このままですと、排水基準値を超えることが予測され、切削水の単独処理が必要になってきました。

◀活動ポイント・結果▶

- ・調査、テストなど試行錯誤を繰り返し、排水基準値以下の処理方法を確立。



- ・大きな設備投資をすることなく、既存設備にて水質目標値をクリアすることができました。

設備投資の場合：初期費用1,600万点+処理費用1万点/m³

社外処理の場合：処理費用3万点/m³（年間費用：550万点）

社内処理 ⇒ 処理費用1,000点/m³で水質目標値をクリア！

（年間費用：18万点）

